

2021年11月17日 全8頁

Indicators Update

2021年10月貿易統計

自動車輸出に回復が見られるも半導体不足により増勢は弱い

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.4%と8カ月連続で増加したものの、増加ペースは鈍化が続いている。自動車輸出が持ち直したことで、季節調整値では前月比+2.7%と2カ月ぶりに増加したものの、10月の自動車輸出の増加分は9月の急減を補うには至らなかった。輸入金額は前年比+26.7%と大幅増が続いており、高騰するエネルギー品目が押し上げた。季節調整値で見ても前月比+0.3%と小幅に増加しており、高水準が続いている。これを受けて貿易収支は▲674億円となった。季節調整値では▲4,447億円となり、6カ月連続の赤字であった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.5%と4カ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+10.1%）とEU向け（同+4.5%）は増加に転じた一方、アジア向け（同▲1.7%）は6カ月連続で減少した。
- 先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。9月以前はベトナムやマレーシアなどでのロックダウンにより、工業製品の部品調達難や追加的な半導体不足が生じ、輸出の減少要因となった。こうした状況は足元で改善しつつあり、今後は主力の自動車を中心に挽回輸出が見られよう。ただし、依然として世界的な半導体不足が継続する中では急激な挽回生産を見込みにくく、供給制約の緩和に伴って徐々に輸出額が回復していく姿が想定される。

【貿易金額】輸出金額の回復が鈍く貿易収支は赤字が継続

2021年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.4%と8カ月連続で増加したものの、増加ペースは鈍化が続いている（図表1）。季節調整値では前月比+2.7%と2カ月ぶりに増加しており、前月に大幅に減少していた自動車全体を押し上げた。東南アジアで新型コロナウイルスの感染状況が改善したことで一部の国でロックダウンが解除され、部品調達難が緩和されたことが背景にある。ただし世界的な半導体不足が依然として自動車生産の重石となっており、10月の自動車輸出の増加分は9月の急減を補うには至らなかった。

輸入金額は前年比+26.7%と大幅増が続いている。品目別では原油及び粗油や石炭、液化天然ガスなど、高騰が続いているエネルギー関連が押し上げた。季節調整値で見ても前月比+0.3%と小幅に増加しており、高水準が続いている。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同▲3.2%となった一方、輸入価格（同）は同+3.6%となり、数量の減少分を上回った。世界的な資源高に加えて円安の進行を受けて輸入価格が上昇したとみられる。これを受けて貿易収支は▲674億円となった。季節調整値で見ても▲4,447億円となり、6カ月連続の赤字であった。

図表1：貿易統計の概況

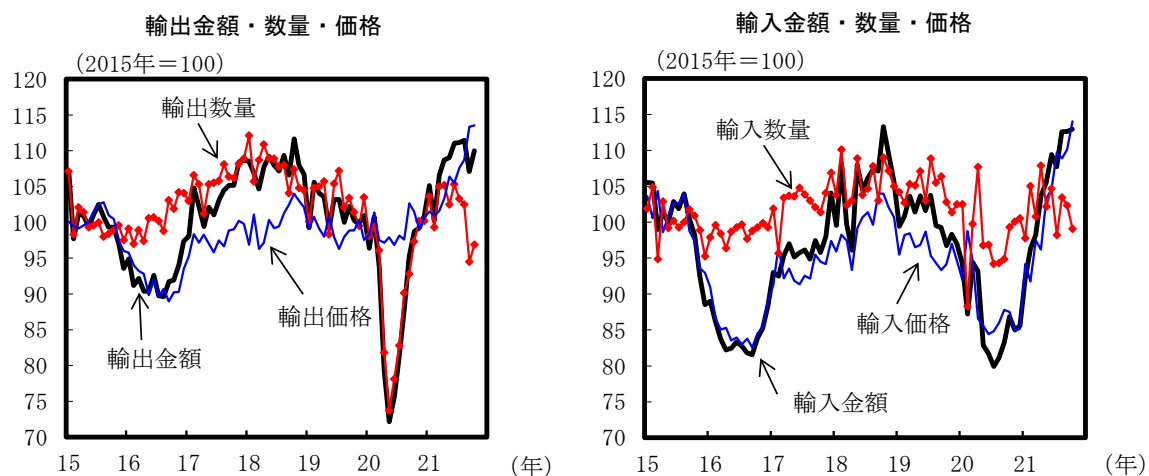
		2021年								
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲4.5	16.1	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4
	コンセンサス									10.3
	DIRエコノミスト予想									8.7
	輸入金額	11.8	5.7	12.7	27.7	32.5	28.1	44.5	38.2	26.7
	輸出数量	▲4.4	12.6	28.4	38.5	37.1	25.2	13.7	3.2	▲2.6
	価格	▲0.1	3.1	7.4	8.0	8.4	9.5	11.0	9.5	12.3
	輸入数量	22.0	3.9	1.2	6.8	8.2	2.0	14.5	7.5	▲3.0
価格	▲8.3	1.8	11.4	19.5	22.5	25.6	26.2	28.6	30.6	
	貿易収支(億円)	2,117	6,578	2,488	▲1,934	3,789	4,358	▲6,431	▲6,241	▲674
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲4.7	6.4	2.0	0.3	1.9	0.1	0.3	▲3.9	2.7
	数量	▲4.2	5.7	0.2	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8	2.5
	価格	▲0.5	0.6	1.8	2.9	▲0.8	2.0	1.1	4.2	0.2
	輸入金額	4.7	1.9	5.6	1.7	3.7	▲1.5	4.5	0.0	0.3
	数量	7.4	▲4.0	7.0	▲5.3	2.4	▲6.2	5.3	▲1.1	▲3.2
	価格	▲2.6	6.2	▲1.3	7.4	1.2	4.9	▲0.8	1.1	3.6
		貿易収支(億円)	264	3,080	797	▲185	▲1,454	▲302	▲3,290	▲6,055
	税関長公示レート	104.50	107.13	109.56	108.80	109.50	110.55	109.89	109.87	111.42

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

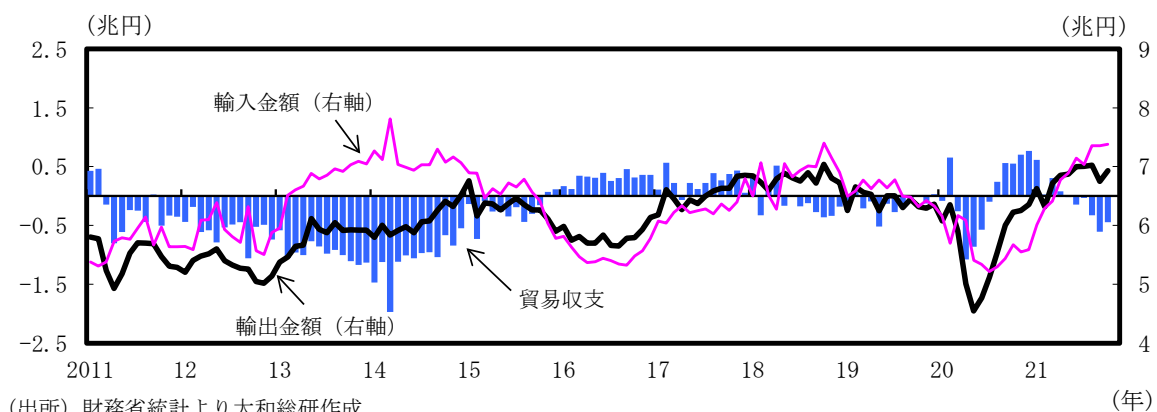
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】自動車輸出に持ち直しが見られるも増加幅は限定的

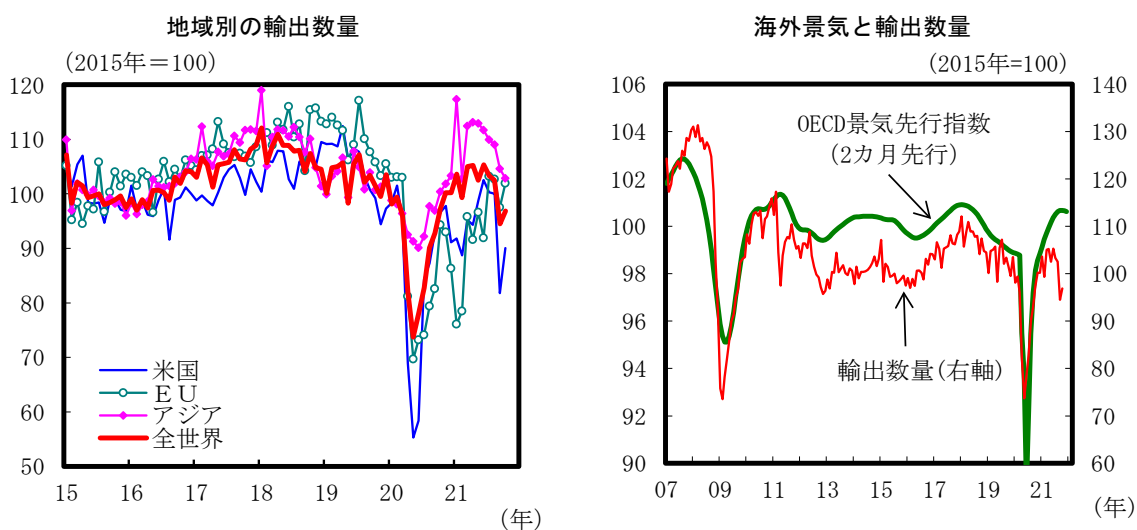
10月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.5%と4カ月ぶりに増加した。ただし、9月（同▲7.8%）にサプライチェーンの混乱や半導体不足によって自動車などの輸出が減少した分の約3割を補う程度にとどまっている。地域別に見ると、米国向け（同+10.1%）やEU向け（同+4.5%）が増加に転じた一方、アジア向け（同▲1.7%）は6カ月連続で減少した。

米国向けは4カ月ぶりに増加した。内訳を見ると、増加分のおよそ半分は自動車輸出の回復によるものであった。ただし水準で見た自動車輸出はコロナショックからの回復期にあった2020年7月を大きく下回っている。また自動車の部分品や原動機（自動車のエンジンを含む）、バス・トラック、二輪自動車などの自動車関連財も小幅な回復にとどまっており、挽回輸出は本格化していない。

EU向けは3カ月ぶりに増加した。米国と同様に自動車や原動機が持ち直したものの、依然として低水準であるほか、自動車の部分品などは減少が続いている。EU向けの自動車輸出はコロナショック以前から減少傾向が続いており、EV（電気自動車）への需要のシフトが日本からの自動車輸出の逆風となっている可能性が示唆される。その他の品目では、前月に大きく増加していた電算機類の部分品で反動減が見られたほか、高水準にあった半導体等製造装置が減少した。

アジア向けは6カ月連続で減少した。とりわけ中国向けが全体を押し下げており、同国の景気減速や電力不足問題による生産の停滞を反映して中間財輸出を中心に減少した。アジア向け全体で見ると、自動車の部分品やプラスチックが減少した。他方、自動車、非鉄金属、半導体等製造装置といった主力品目は回復が進んでいる。半導体等製造装置はこのところ頭打ちとなっていたが、マレーシアで実施されていたロックダウンを背景に半導体不足に拍車がかかったことで設備投資意欲が喚起された可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】半導体不足の継続により自動車の急激な挽回生産・挽回輸出は見込みにくい

先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。9月以前はベトナムやマレーシアなどでのロックダウンにより、工業製品の部品調達難や追加的な半導体不足が生じ、輸出の減少要因となった。こうした状況は足元で改善しつつあり、今後は主力の自動車を中心に挽回輸出が見られよう。ただし、依然として世界的な半導体不足が継続する中では急激な挽回生産を見込みにくく、供給制約の緩和に伴って徐々に輸出額が回復していく姿が想定される。

地域別に見ると、米国向けは回復ペースが加速するとみている。10月の米小売売上高は前月比+1.7%と大幅な伸びが見られており、堅調な需要が示唆されている。自動車・同部品に限って見ても前月比+1.8%と増加しており、半導体不足の緩和に伴う日本からの自動車の挽回輸出を後押ししよう。また大和証券の自動車セクターのアナリストは2022年度中に自動車向け半導体の供給制約が収束すると予想しており¹、中期的に見ても自動車輸出が全体を下支えするとみられる。なお足元では1兆ドル（約110兆円）規模のインフラ投資法案が成立したが、強化されたバイ・アメリカン法の下ではインフラ投資の部材が米国製品に限られるため、日本の財輸出への恩恵は小さいだろう。

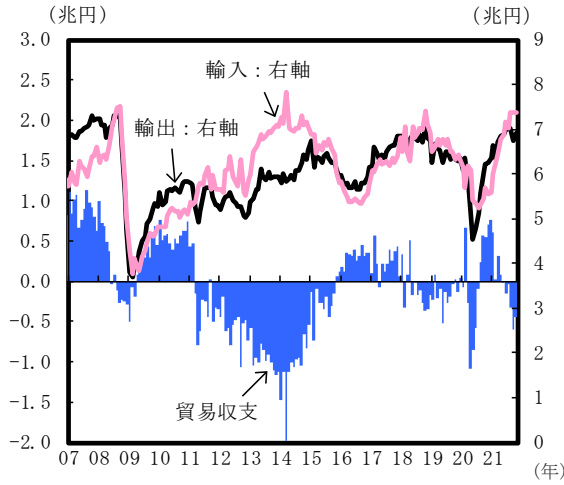
欧州向けは緩やかな増加基調を見込む。ユーロ圏の7-9月期の実質GDPは前期比年率+9.3%と4-6月期に続いて高成長を維持しており、経済の正常化が進む中で需要は堅調に推移しよう。ただし足元では景気回復の一服を示唆する経済指標が相次いでおり、10-12月期は景気の減速が見込まれる。なお足元ではドイツなどで感染の再拡大が見られるが、ワクチンの普及を背景に死者数は低位にとどまっている。重症化率の低下を背景に人出は高水準で推移しており、消費への悪影響は当初の想定よりも軽微なものとなろう。

中国向けは当面横ばい圏で推移するとみている。日本から中国に向けた輸出は中間財や資本財が中心であるため、中国国内での生産水準との連動性が高く、足元の世界経済の回復に伴う増産が日本からの輸出を下支えするとみられる。しかしながら、中国では資源高や電力不足を背景に鉱工業生産指数の上昇率の鈍化が続いている。電力不足による減産は年明け頃まで続くともみられ、日本の輸出にも悪影響を及ぼすだろう。また中国国内の家計消費の減速がこれに拍車をかけており、世界経済の回復に伴う日本からの輸出の押し上げ効果を相殺するとみている。

¹ 箱守英治「自動車セクター：2Q21 決算の見方とポイント」（大和証券レポート、2021年10月18日）

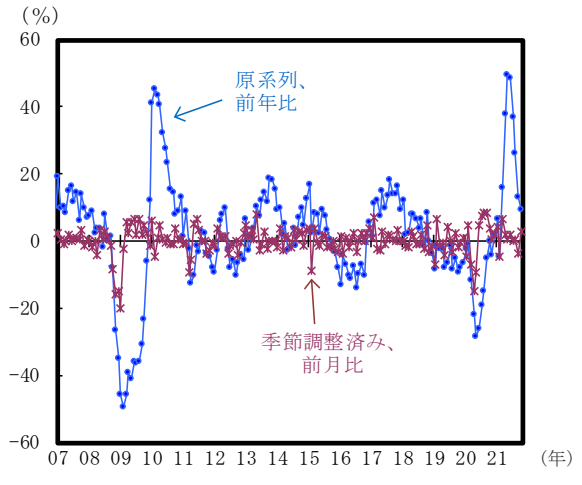
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

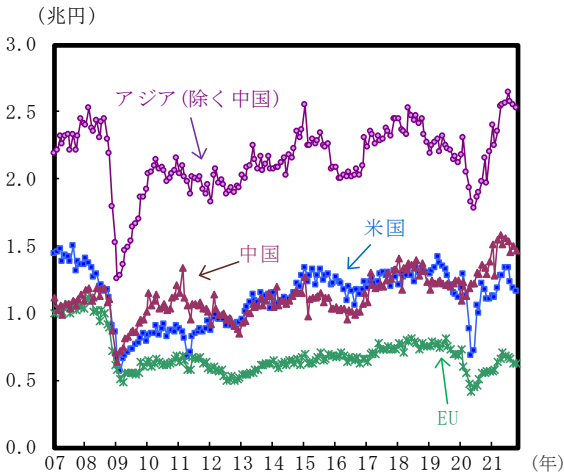


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

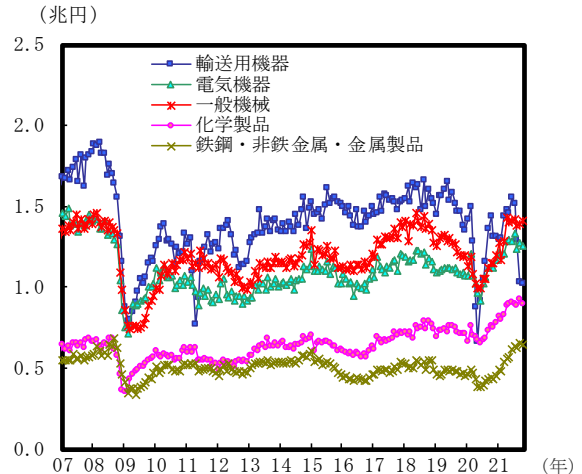


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

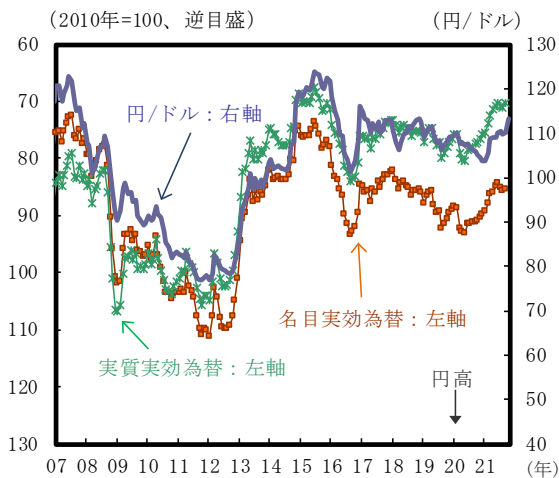


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

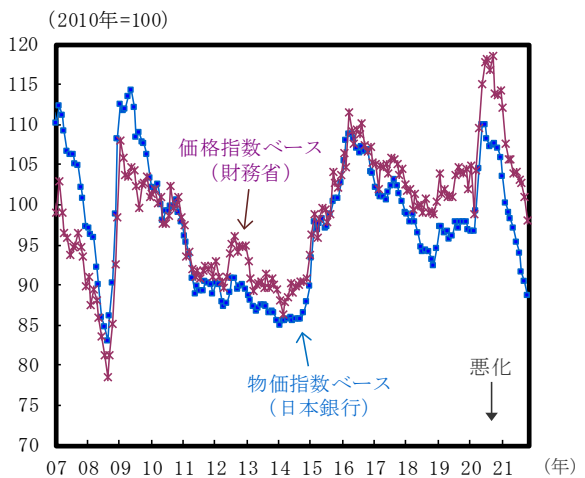


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	100.0	9.4
食料品	29.9	22.7	25.6	29.2	22.6	17.2	1.3	0.2
原料品	105.4	84.9	50.4	48.9	35.8	18.5	1.6	0.3
鉱物性燃料	12.5	7.7	133.2	153.5	167.8	210.0	1.5	1.1
化学製品	32.6	39.5	33.1	28.5	27.3	18.0	13.2	2.2
原料別製品	45.7	56.6	55.1	43.6	42.8	37.2	12.8	3.8
鉄鋼	43.5	73.0	88.3	83.6	94.4	80.1	5.0	2.5
非鉄金属	63.7	45.2	31.5	13.3	14.5	20.5	2.6	0.5
金属製品	46.2	60.1	50.0	29.1	23.1	13.0	1.6	0.2
一般機械	40.5	42.0	35.8	31.7	23.7	23.0	20.4	4.2
電気機器	32.9	39.9	30.9	17.1	14.4	10.5	19.3	2.0
半導体等電子部品	12.7	24.7	27.8	14.9	13.7	15.1	6.3	0.9
I C	6.5	14.2	24.4	12.7	8.7	13.3	4.4	0.6
映像機器	114.7	64.4	14.6	15.6	5.3			
映像記録・再生機器	96.6	74.8	17.6	14.4	6.2	▲23.0	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	26.9	80.0	137.0	25.5	0.6	20.6	0.3	0.1
電気回路等の機器	40.1	47.9	33.4	25.4	20.4	10.9	2.6	0.3
輸送用機器	118.9	68.1	44.8	11.5	▲24.5	▲28.7	15.3	▲6.8
自動車	135.5	102.8	43.5	4.0	▲40.3	▲36.7	9.3	▲5.9
自動車の部分品	139.2	114.8	60.1	28.7	9.9	▲7.0	4.1	▲0.3
その他	43.2	47.5	21.9	27.7	13.5	17.8	14.5	2.4
科学光学機器	36.4	26.1	19.8	21.6	15.8	14.6	2.9	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	87.9	85.7	26.8	22.8	▲3.3	0.4	100.0	0.4
食料品	128.2	115.4	51.9	66.0	23.2	58.1	1.2	0.4
原料品	143.8	110.2	21.8	60.5	18.0	42.5	0.8	0.2
鉱物性燃料	▲65.1	▲33.1	32.3	595.0	2673.2	693.6	0.3	0.3
化学製品	▲1.6	22.5	39.5	55.0	24.1	28.9	8.7	2.0
原料別製品	57.0	85.4	51.9	44.2	21.9	40.3	7.6	2.2
鉄鋼	50.4	145.3	35.0	48.6	59.7	104.8	1.6	0.8
非鉄金属	62.7	5.9	75.7	52.4	35.8	83.9	0.8	0.4
金属製品	77.2	112.7	43.1	26.0	14.1	11.8	1.8	0.2
一般機械	65.8	80.3	47.8	54.2	40.7	29.8	27.3	6.3
電気機器	99.4	79.8	35.5	23.6	5.8	17.0	16.5	2.4
半導体等電子部品	62.6	76.0	51.4	37.4	27.1	26.2	1.6	0.3
I C	77.8	47.7	32.4	21.0	10.4	12.6	0.6	0.1
映像機器	164.5	89.9	3.0	36.1	▲5.8			
映像記録・再生機器	158.4	124.8	25.1	41.1	▲6.0	▲24.6	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	144.2	74.4	659.1	168.6	78.7	41.8	0.3	0.1
電気回路等の機器	104.5	65.4	25.6	20.6	▲0.9	13.2	1.6	0.2
輸送用機器	225.0	129.5	11.2	▲8.3	▲38.4	▲39.1	24.7	▲15.9
自動車	244.6	144.3	10.7	▲12.4	▲47.0	▲46.4	17.3	▲15.0
自動車の部分品	295.5	179.9	45.1	29.8	13.2	0.8	6.0	0.1
その他	68.5	68.3	16.3	28.7	▲6.1	22.9	13.0	2.4
科学光学機器	58.4	38.1	36.3	42.4	19.5	29.3	2.9	0.7

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	69.6	51.1	46.1	29.9	12.1	12.1	100.0	12.1
食料品	115.3	92.5	87.7	78.7	55.7	50.2	0.8	0.3
原料品	100.9	52.6	42.4	31.6	44.4	10.6	0.8	0.1
鉱物性燃料	300.0	119.1	95.8	30.6	131.0	957.6	0.7	0.7
化学製品	37.8	46.3	30.7	25.3	38.0	27.6	13.3	3.2
原料別製品	81.4	84.2	94.0	111.5	60.9	45.9	7.9	2.8
鉄鋼	158.8	173.7	445.8	495.3	140.9	192.2	2.2	1.6
非鉄金属	55.2	80.5	36.5	77.3	206.4	13.0	0.8	0.1
金属製品	76.4	74.0	42.7	46.7	29.8	17.5	1.5	0.2
一般機械	70.4	65.7	51.2	47.2	31.0	25.8	23.9	5.5
電気機器	52.8	52.5	40.4	22.8	18.4	16.2	18.7	2.9
半導体等電子部品	45.7	41.0	47.8	25.5	27.0	7.1	2.3	0.2
I C	48.7	20.5	39.5	26.5	13.8	▲0.6	0.9	▲0.0
映像機器	154.3	78.8	22.2	6.0	17.0			
映像記録・再生機器	137.7	81.2	31.1	1.6	19.1	▲21.1	0.7	▲0.2
音響・映像機器の部分品	70.4	69.2	75.2	5.2	▲4.8	▲11.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	71.6	71.5	73.5	63.0	39.3	43.2	1.9	0.6
輸送用機器	112.4	40.1	41.2	3.1	▲36.8	▲26.0	16.9	▲6.6
自動車	46.7	14.8	9.6	▲18.3	▲58.5	▲34.2	9.1	▲5.3
自動車の部分品	287.3	206.7	73.7	17.9	▲5.8	▲21.5	4.9	▲1.5
その他	69.8	33.5	44.6	27.9	32.3	20.0	17.0	3.2
科学光学機器	70.5	31.5	54.3	32.2	28.6	35.7	4.3	1.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.5	37.1	32.5	26.1	21.3	15.0	100.0	15.0
食料品	12.9	6.9	18.6	18.8	22.2	10.9	1.5	0.2
原料品	101.8	86.2	52.4	46.7	40.1	17.9	2.3	0.4
鉱物性燃料	52.6	10.6	126.2	32.0	79.7	125.3	1.6	1.0
化学製品	38.0	44.0	33.7	29.0	26.8	15.5	16.3	2.5
原料別製品	42.3	49.8	55.6	42.1	42.1	35.6	15.3	4.6
鉄鋼	44.2	67.0	90.0	83.1	91.5	76.4	6.3	3.2
非鉄金属	58.7	45.1	35.7	18.5	13.1	20.5	3.9	0.8
金属製品	34.3	42.2	49.4	23.5	26.5	17.6	1.6	0.3
一般機械	25.3	25.6	26.8	20.5	16.8	19.9	18.9	3.6
電気機器	18.5	30.3	27.6	15.4	15.5	9.4	22.9	2.3
半導体等電子部品	9.1	21.5	25.9	13.2	12.1	14.8	9.7	1.4
I C	3.8	12.8	23.7	11.9	8.3	13.5	7.0	1.0
映像機器	63.2	37.3	5.6	▲1.3	16.1			
映像記録・再生機器	52.9	47.0	6.1	2.8	21.9	▲17.8	0.2	▲0.1
音響・映像機器の部分品	10.1	72.5	74.4	4.3	▲13.5	25.2	0.4	0.1
電気回路等の機器	28.8	41.8	30.7	22.1	20.3	9.5	3.5	0.3
輸送用機器	59.4	40.3	32.6	16.2	▲21.2	▲23.2	6.0	▲2.1
自動車	68.9	52.6	30.8	9.3	▲47.3	▲35.4	2.6	▲1.7
自動車の部分品	57.2	64.0	59.9	25.4	16.6	▲4.5	2.8	▲0.2
その他	30.3	41.5	21.9	35.8	30.5	16.4	15.2	2.5
科学光学機器	24.8	20.3	9.9	15.6	13.1	6.7	3.1	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	23.6	27.7	18.9	12.6	10.3	9.5	100.0	9.5
食料品	20.1	35.1	73.8	72.8	44.5	40.1	1.2	0.4
原料品	125.0	141.5	53.5	39.0	71.4	48.9	2.2	0.8
鉱物性燃料	▲13.4	▲33.4	▲6.7	▲23.3	▲1.8	▲1.8	0.6	▲0.0
化学製品	23.4	27.9	20.3	25.4	24.1	18.6	18.0	3.1
原料別製品	23.6	20.2	19.1	8.9	10.6	26.0	13.0	2.9
鉄鋼	29.3	20.6	23.6	5.9	23.6	32.4	3.5	0.9
非鉄金属	28.3	15.4	8.0	6.3	▲5.6	41.6	4.5	1.4
金属製品	14.4	27.2	34.8	10.3	22.1	16.7	1.8	0.3
一般機械	25.2	25.7	13.5	5.6	10.1	12.9	23.0	2.9
電気機器	11.2	24.4	24.5	15.0	17.6	13.0	22.6	2.9
半導体等電子部品	▲8.5	2.8	19.7	11.2	16.8	27.0	7.7	1.8
I C	▲20.7	▲12.7	15.3	10.6	20.3	30.6	5.4	1.4
映像機器	26.7	2.8	▲9.1	▲11.7	11.8			
映像記録・再生機器	23.8	6.5	▲8.6	▲6.9	19.5	▲31.6	0.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲5.7	57.0	99.3	▲20.0	▲26.3	28.5	0.5	0.1
電気回路等の機器	22.2	28.8	16.8	16.8	13.8	3.9	3.6	0.2
輸送用機器	30.8	15.2	13.4	▲5.5	▲43.7	▲33.8	6.6	▲3.7
自動車	42.9	17.6	13.6	▲11.2	▲71.9	▲46.8	3.0	▲2.9
自動車の部分品	15.3	8.6	13.1	2.1	▲3.3	▲15.1	3.4	▲0.7
その他	29.1	48.7	16.4	17.4	20.1	2.5	12.7	0.3
科学光学機器	15.4	20.5	2.5	1.5	1.3	5.6	3.9	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成